



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名	株式会社バリューデザイン	上場取引所	東
コード番号	3960	URL	https://www.valuedesign.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)尾上 徹	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)上田 恭子	(TEL) 03 (5542) 0088
四半期報告書提出予定日	2019年5月15日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績 (2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,538	0.4	28	△50.5	19	△58.1	12	△69.7
2018年6月期第3四半期	1,532	19.2	57	—	47	—	40	—

(注) 包括利益 2019年6月期 第3四半期 5百万円 (△83.8%) 2018年6月期 第3四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	8.28	7.80
2018年6月期第3四半期	27.64	26.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,302	866	66.0
2018年6月期	1,340	852	63.1

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 860百万円 2018年6月期 845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,060	0.3	△114	—	△126	—	△105	—	△71.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期3Q	1,469,500株	2018年6月期	1,465,600株
2019年6月期3Q	57株	2018年6月期	32株
2019年6月期3Q	1,468,317株	2018年6月期3Q	1,454,551株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当第3四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年6月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示へ変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、システム利用料売上が前年同期比16.9%増、初期売上が前年同期比19.5%減となった結果、総売上高は前年同期と同水準の1,538,673千円(前年同期比0.4%増)となりました。一方、販売費及び一般管理費は、オフィス移転や人員増加、システム利用料売上増加に伴う代理店手数料の増加等により17.8%増となり、その結果、営業利益は28,523千円(前年同期比50.5%減)となりました。通期の業績予想につきましては、当期計画しておりました投資案件により計上される費用が想定より減少した事などにより、期初の予想を変更しております。

当社グループの所属する電子決済市場においては、キャッシュレス決済による消費税増税分の還元施策が実行準備段階に入っており、またQR等コードを用いたモバイルペイメントサービス領域での競争や、Fintech関連サービスの開発の更なる活発化が続くなど、市場の成長性は非常に良好といえる状況です。

このような市況の下、当社グループが事業展開している「バリューカードASPサービス」も、引き続き導入企業数・店舗数ともに堅調に推移しており、2019年3月末時点で累計導入企業数は686社、累計導入店舗数は67,026店舗となっております。ハウスプリペイドカード事業においては、全国の飲食店・小売店を中心に既存導入店舗における利用意欲、新規の需要が旺盛な状況が続いており、またブランドプリペイドカード事業においても取扱高(プリペイド入金額)の堅調な推移が続いております。

また、QR等コード決済が普及していく中、導入店舗では利用者を特定しない汎用的な決済手段であるQR等コード決済と、上位顧客の囲い込みを目的としたハウスプリペイドカードの双方の特性を生かし、併用する需要も生まれております。当社はそうした需要に応えるため、一つのインフラ(バーコードリーダー)で双方利用可能とするためのQR等コード決済事業者との接続サービスを開発しております。これにより、ハウスプリペイドカードの導入店舗は複数のQR等コード決済サービスを比較的容易に導入することが可能となります。

セグメントの事業業績は、次のとおりであります。

① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、大手飲食チェーンやスーパーマーケット、ホームセンター等での利用が引き続き好調であり、取扱高は前年同期比48.8%増、導入店舗数は累計で67,026店(前年同期比19.3%増)となっております。この結果、売上高は1,396,289千円(前年同期比7.7%増)となりました。売上区分では、カード製造やシステムのカスタマイズ等の初期売上が550,048千円(前年同期比6.2%減)となりました。これは期初の計画通り、新規採用人員の教育や、来期以降の収益貢献が見込まれる大型案件獲得へ営業の人的リソースを割いていることに加え、当期受注の大型案件の稼働準備に想定より時間を要していることも影響しております。システム利用料売上は既存案件の好調が継続しており、846,240千円(前年同期比19.2%増)となりました。

販売費及び一般管理費はシステム利用料売上増加に伴う代理店手数料の増加(14.9%増)などの他は概ね前年同期と同程度の水準となり、セグメント利益(営業利益)は308,119千円(前年同期比28.5%増)となりました。

② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、前年同期には発生した大型カスタマイズ開発案件が発生しなかったことなどから、初期売上は減少となりました。一方で既存イシュア(カード発行会社)の提携先(注)における取引高及びそれに伴うシステム利用料売上は前年同期比4.1%増と堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は142,383千円(前年同期比39.7%減)、セグメント損失(営業損失)は8,603千円(前期はセグメント利益3,044千円)となりました。

(注) 提携先とは、カード発行会社(イシュア)が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客(会員組織等)に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

上記に加え、共通費用(両セグメントに該当しない本社費用)がオフィス移転の関連費用を中心に46.4%増となった結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高1,538,673千円(前年同期比0.4%増)、営業利益28,523千円(前年同期比50.5%減)、経常利益19,717千円(前年同期比58.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12,164千円(前年同期比69.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は、前連結会計年度末に比べて37,925千円減少し、1,302,993千円となりました。これは主として、現金及び預金が73,019千円減少し、売掛金が22,784千円、固定資産が11,593千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて52,166千円減少し、436,106千円となりました。これは主として、未払金が34,714千円、長期借入金（一年以内返済予定長期借入金を含む）が14,985千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14,240千円増加し、866,886千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益12,164千円を計上したこと、新株予約権の行使による新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,862千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、2018年8月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたします。

2019年6月期の連結業績予想値の修正（2018年7月1日から2019年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	2,123	△197	△210	△172	円 銭 △118.08
今回修正予想 (B)	2,060	△114	△126	△105	円 銭 △71.51
増減額 (B-A)	△63	83	84	67	—
増減率 (%)	△3.0	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2018年6月期)	2,053	79	64	33	22.83

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,854	513,834
売掛金	268,791	291,575
たな卸資産	12,214	3,686
その他	35,055	44,844
貸倒引当金	△2,912	△3,457
流動資産合計	900,002	850,483
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	150,307	153,985
リース資産(純額)	95,615	64,379
その他(純額)	22,515	36,227
有形固定資産合計	268,438	254,592
無形固定資産		
ソフトウェア	139,311	112,828
その他	11,398	154
無形固定資産合計	150,710	112,983
投資その他の資産		
その他	22,045	85,442
貸倒引当金	△278	△508
投資その他の資産合計	21,767	84,934
固定資産合計	440,916	452,509
資産合計	1,340,918	1,302,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,284	83,778
1年内返済予定の長期借入金	19,980	19,980
未払金	97,309	62,595
未払法人税等	23,037	9,540
その他	79,578	89,668
流動負債合計	286,189	265,563
固定負債		
長期借入金	170,080	155,095
退職給付に係る負債	—	1,824
その他	32,003	13,623
固定負債合計	202,083	170,542
負債合計	488,272	436,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,914	704,776
資本剰余金	694,876	696,738
利益剰余金	△550,114	△537,950
自己株式	△129	△207
株主資本合計	847,546	863,358
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,842	△2,965
その他の包括利益累計額合計	△1,842	△2,965
新株予約権	—	5,092
非支配株主持分	6,942	1,402
純資産合計	852,645	866,886
負債純資産合計	1,340,918	1,302,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,532,344	1,538,673
売上原価	903,334	837,111
売上総利益	629,010	701,561
販売費及び一般管理費	571,425	673,038
営業利益	57,584	28,523
営業外収益		
受取利息	27	32
為替差益	313	—
その他	139	167
営業外収益合計	480	200
営業外費用		
支払利息	10,957	8,062
為替差損	—	618
その他	0	325
営業外費用合計	10,957	9,006
経常利益	47,108	19,717
税金等調整前四半期純利益	47,108	19,717
法人税、住民税及び事業税	8,529	13,094
法人税等調整額	1,938	—
法人税等合計	10,467	13,094
四半期純利益	36,640	6,623
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,563	△5,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,204	12,164

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	36,640	6,623
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,729	△1,121
その他の包括利益合計	△2,729	△1,121
四半期包括利益	33,911	5,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,791	11,041
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,879	△5,540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,296,348	235,996	1,532,344	—	1,532,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,296,348	235,996	1,532,344	—	1,532,344
セグメント利益	239,737	3,044	242,782	△185,197	57,584

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△185,197千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,396,289	142,383	1,538,673	—	1,538,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,396,289	142,383	1,538,673	—	1,538,673
セグメント利益又は損失(△)	308,119	△8,603	299,515	△270,992	28,523

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△270,992千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。